

八景中学校区部会としての現時点でのまとめについて

1 グループ協議における主な内容について(第1・2回部会会議録より抜粋)

保護者グループの主な意見	協議した課題	地域グループの主な意見
①2つの学校を統合することにより、今以上に子どもたちにとって素晴らしい学校にすることが必要ではないか。	めざす学校像について	①めざす学校像を明確にしてほしい。(例えば、英語教育やICTリモート教育の充実など)
<p>①八景中の課題(通学上の安全と防犯、校門前の急坂、施設の配置等)と上野台中の課題(教職員体制、部活動、校舎等の施設等)とを解決する方法として、学校再編(2校の統合)は必要である。</p> <p>②学校再編を検討する際は、充実した施設、安全で安心な通学保障、生徒同士の間関係づくり、さらには災害に強い避難所の役割等を大切な視点として検討が必要である。</p> <p>③行政案に沿って前向きに考えていきたい。その中で、具体的な課題について検討するべきである。</p> <p>④行政案は、上野台中・八景中の両方にとってプラスになる案である。現在2校が抱えるそれぞれの課題を、再編を通して解決していくことが重要である。</p> <p>⑤一定の学校規模を確保することで教職員数を確保していくことが、子どもの教育の充実につながると考える。</p> <p>⑥2校の子どもたちのためにも、可能な限り早い時期に再編すべきである。合意形成から統合までのスケジュールを示してほしい。</p>	行政案(上野台中・八景中の統合)やその他の方策について	<p>①合併案に異を挟まない。上野台中学校が1クラスなら再編すべき。部活動、教員が増えるのはよい。現状の課題を解消するための再編であれば反対するものはいない。各論をつめていけばどうか。</p> <p>②統合により、避難所としての機能、地域の核が減るので、代替となるものが必要ではないか。小規模で魅力を高めれば、それも一つの学校のあり方ではないか。</p> <p>③上野台中校区部会では、複数の再編案について協議されているようだが、三田小校区としては行政案が良いと考える。</p>

	<p>新設校の場所・通学手段および通学の安全確保について</p>	<p>①場所は重要である。八景中学校区の中で中央部、平坦部、R176 交通状況を考慮して場所を検討してほしい。災害に強い、安全な場所を（武庫川堤防沿いの通学は、夕方以降暗くて危険であり、この際、解消してほしい。）</p> <p>②三輪小校区としては、新設校の具体的な場所について、ある程度の見通しがないと、賛否が示しにくい。場所は八景中の生徒が徒歩又は自転車で通学可能な場所で、現校区の中心部より上野台中寄りが良いのではないかと。</p> <p>③松が丘小校区としては、八景中より近くなれば異論はない。自転車通学路の安全整備をお願いしたい。遠い方の生徒のケアとして、交通手段、部活動に配慮し負担軽減を図る必要がある。</p> <p>④スクールバスを主とすると路線バスの減便やなくなることも考えられるが、生徒の通学・教育活動に支障等、生徒が不便とならないように配慮願う。自宅から計算すると通学時間が1時間を超える場合も想定される。生徒の過度な負担にならないように場所を選定してほしい。</p>
<p>①再編前の生徒同士の交流など、統合するにあたって少人数である上野台中の生徒が安心感を持てるような取り組み・ケアが必要である。</p>	<p>子ども・保護者へのケアについて</p>	
<p>①子どもたちの教育環境を良くするため、スピード感を持って協議を進めてほしい</p> <p>②行政案およびそれ以外の再編案について、上野台中校区のみなさんがどのように考えているのかを知りたい。そのために、今後、上野台中・八景中の合同での協議の場を持ってほしい。</p>	<p>その他（協議の進め方など）</p>	<p>①次世代を担う保護者や主体者である子どもの声を大切にしたい。</p> <p>②この2回保護者と地域が分かれて協議したので、今回は、合同で話し合う場を持ちたい。</p>

2 部会まとめ

【学校再編についての総合的な見解（行政案の賛否も含めて）】

協 議 内 容

参 考(第1・2回部会会議録および資料より抜粋)

【課題1】めざす学校像について

【会議録要旨】

- ①2校の統合により、今以上に子どもたちにとって素晴らしい学校になることを希望。
- ②めざす学校像の明確化を希望（例えば、英語教育やICT リモート教育の充実など）。

【事務局説明】

〇めざす学校像として「2校の良さ・特色を生かした学校」（ICT、生徒指導、生徒会活動、特別支援教育など）、「保護者・地域に支えられ、地域とともに歩む学校」（コミュニティ・スクールのモデル校）、「三田市の中核となる、地域・保護者・生徒・教職員が誇りに思える学校」などを想定。その実現のために、行政としてもできる限りの支援を行う。

【課題2】 行政案（上野台中・八景中の統合）やその他の方策について

【会議録要旨】

- ①八景中の課題（通学上の安全と防犯、校門前の急坂、施設の配置等）と上野台中の課題（教職員体制、部活動、校舎等の施設等）とを解決する方法として、学校再編（2校の統合）は必要
- ②行政案に沿って前向きに考えていきたい。その中で、具体的な課題について検討すべき。
- ③2校の子どもたちのためにも、可能な限り早い時期に再編すべき。合意形成から統合までのスケジュールの明示を希望。
- ④統合により、避難所としての機能、地域の核が減るので、代替となるものが必要。小規模で魅力を高めれば、それも一つの学校のあり方ではないか。

【事務局説明】

○行政案に至るまでに①「松が丘小校区を上野台中校区に変更する」②「松が丘小校区・三輪小校区を上野台中校区に変更する」③「上野台中とけやき台中をけやき台中に統合する」④「上野台中・藍中・長坂中を統合し新三田付近に新設校を設置する」などの案を検討。4案はいずれも上野台中の課題解決案であり、八景中の課題解決としては、行政案が望ましい。

【課題3】新設校の場所、通学手段および通学の安全確保について

【会議録要旨】

- ①場所は重要。八景中校区の中央部、平坦部、R176 交通状況を考慮して場所を検討してほしい。災害に強い、安全な場所を希望。
- ②新設校の場所について、ある程度の見通しがないと賛否が示しにくい。八景中の生徒が徒歩又は自転車で通学可能な場所で、現校区の中心部より上野台中寄りが良いのではないか。
- ③自転車通学路の安全整備を希望。遠距離の生徒のケアとして、交通手段、部活動に配慮し、負担軽減を図ることが必要。
- ④スクールバスを主とすると路線バスの減便やなくなることも考えられるが、生徒の通学・教育活動など、生徒が不便とならないよう配慮が必要。生徒の過度な負担にならないような場所を希望。

【事務局説明】

- 生徒の通学の利便性・安全性を第一に考慮して新設校の場所（候補地）を選定。
- 統合の合意がなされた場合、新設校の開校までに「行政としての決定⇒土地の調査・確保⇒各種申請等の手続き⇒設計・工事⇒開校」の手続きが必要。一定の期間が必要となることから、その間の対応や施設整備等については、「再編準備会(仮)」において協議。
- 通学手段（バス）については、以下の点を考慮して今後具体的に検討。
 - ・学校の時程や部活動、学校行事等、教育活動に支障が出ないよう配慮。
 - ・可能な限り路線バスを活用し、地域交通の維持・確保にも配慮。
 - ・路線バスで対応できない地域については通学バスの確保も含めて、今後事業者等と調整・協議。

	<p>○通学路の安全対策については、以下の点を考慮して今後具体的に検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長部局・警察などと連携し、生徒の安全確保に努力。 ・新設校の候補地選定については、通学の利便性や安全性を十分考慮。
<p>【課題4】子ども・保護者へのケアについて</p>	
	<p>【会議録要旨】</p> <p>①再編前の生徒同士の交流など、統合にあたって少人数である上野台中の生徒が安心感を持てるような取り組み・ケアが必要。</p> <p>【事務局説明】</p> <p>○統合の合意があれば、「再編準備会(仮)」を立ち上げ、子どもたちの負担軽減の方策を地域・保護者と協議ながら実施。生徒・保護者対象にアンケートを実施するなど、課題等を把握し対応策を検討し、実施。</p> <p>○統合前の2校の交流を積極的に実施。</p> <p>○各種加配教員（統合、生徒指導、不登校など）、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどの配置を検討。</p> <p>○一定の学級集団を確保しつつ、教科によって少人数授業などを工夫して実施。</p> <p>○同一教科の教員が複数配置できることで研修体制が充実し、教員の資質向上に寄与。</p>

【課題5】 その他（協議の進め方など）

【会議録要旨】

- ①子どもたちの教育環境を良くするため、スピード感を持った協議を希望。
- ②行政案およびそれ以外の再編案について、上野台中校区の方がどのように考えているのかを知りたい。そのために、今後、上野台中・八景中の合同での協議の場が必要。
- ③次世代を担う保護者や主体者である子どもの声を大切に。
- ④保護者と地域が合同で話し合う場を希望。

【事務局説明】

- 地域協議会での協議の内容については地域のみなさんにも適切な時期にお知らせしたい。
- 部会・地域協議会については出来るだけ早い時期に意見の取りまとめを行い、具体的な方策の協議に入れるよう努めたい。

3 参考資料(第1・2回部会資料より抜粋)

I 上野台中と八景中の現状と課題について

1 生徒数推計

上野台中生徒数の今後の推移(推計) 令和2年5月1日現在																											
学校名	学年	R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10		R11		R12		R13		R14	
		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
上野台中	1年	2	41	1	32	1	23	1	33	1	36	1	27	1	31	1	34	1	21	1	27	1	23	1	17	1	24
	2年	1	37	2	41	1	32	1	23	1	33	1	36	1	27	1	31	1	34	1	21	1	27	1	23	1	17
	3年	2	43	1	37	2	41	1	32	1	23	1	33	1	36	1	27	1	31	1	34	1	21	1	27	1	23
	合計	5	121	4	110	4	96	3	88	3	92	3	96	3	94	3	92	3	86	3	82	3	71	3	67	3	64

* 令和2年度は在籍生徒数を記入。令和3年以降の1年生は、児童の90%が就学すると想定。

八景中生徒数の今後の推移(推計) 令和2年5月1日現在																											
学校名	学年	R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10		R11		R12		R13		R14	
		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
八景中	1年	6	203	5	161	5	163	5	163	5	175	5	172	5	169	6	203	5	181	5	184	5	165	5	173	5	194
	2年	4	154	6	203	5	161	5	163	5	163	5	175	5	172	5	169	6	203	5	181	5	184	5	165	5	173
	3年	4	153	4	154	6	203	5	161	5	163	5	163	5	175	5	172	5	169	6	203	5	181	5	184	5	165
	合計	14	510	15	518	16	527	15	487	15	501	15	510	15	516	16	544	16	553	16	568	15	530	15	522	15	532

* R2年度は在籍生徒数を記入。令和3年以降の1年生は、児童の90%が就学すると想定。三田駅前Cブロック開発は考慮済み。

2 部活動の状況

令和2年度 部活動状況					R2.7.10現在			
部活動名	上野台				八景			
	1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	合計
陸上競技					16	11	21	48
野球					11	8	15	34
サッカー					12	1	10	23
バスケット(男子)	8	8	6	22	6	6	3	15
バスケット(女子)		4	5	9	11	5	8	24
バレー(女子)		3	6	9	16	6	3	25
卓球(男子)					7	11	13	31
卓球(女子)					3	10	2	15
ソフトテニス(男子)	10	6	11	27	30	8	6	44
ソフトテニス(女子)	6	5	3	14	13	14	5	32
ソフトボール					10	6	4	20
剣道	7	4	5	16				
水泳					6	4	4	14
柔道						6	7	13
運動部小計	31	30	36	97	141	96	101	338
吹奏楽	9	3	6	18	18	13	14	45
美術					24	17	14	55
家庭(生活)					7	6	6	19
文化部小計	9	3	6	18	49	36	34	119
合計	40	33	42	115	190	132	135	457

3 通学手段別生徒数（特別支援学級在籍生徒を含む）

通学手段	上野台中	八景中
バス	95人(73.6%) 最長乗車時間約35分	0人
自転車	16人(12.4%) 最長時間約30分	270人(51.3%) 最長時間約40分
徒歩等	18人(14.0%)	256人(48.7%)

4 教職員数（短時間勤務を除く）

職名	上野台中	八景中
管理職（校長・教頭）	2	2
担任、副担任、加配教員	13（うち特支2、生徒指導1、新学習システム1）	34（うち特支5、生徒指導1、新学習システム3、不登校1）
養護教諭、事務職員	2	2
市費職員（校務員、自立支援員等）	3	4

II 学校再編行政案（上野台中と八景中の統合）

生徒数、学級数の推移予測	再編の考え方
<p>①上野台中学校の状況</p> <p>今後の生徒数、学級数の推計では、上野台中学校の平成35年度の生徒数は100人で、すべての学年が単学級（1学年1学級）となり、それ以降もゆるやかな減少が続くと予測されます。</p> <p>②八景中学校の状況</p> <p>八景中学校は、今後も多少の増減はあるものの適正規模を維持すると予測されます。</p> <p>③両校を統合した場合</p> <p>この両校を統合した場合、一時的に適正規模をやや上回る19～20学級程度になると見込まれますが、その後は、適正規模（18学級以下）になると予測されます。</p>	<p>地理的な状況</p> <p>上野台中学校は、八景、上野台中学校区の比較的中央部に近い場所に位置しますが、敷地、校舎規模が小さく700人規模の生徒の受け入れは困難です。</p> <p>八景中学校は、本市の最南端に位置し、国道から学校までの進入路も狭い急坂であり、地理的、地形的な課題を抱えています。</p> <p>歴史的な状況</p> <p>昭和50年に旧八景中学校区の一部〔志手原小学校区、小野小学校区、三輪小学校区の一部（大原）〕が分離し、旧羽束中学校区と合併して、現在の上野台中学校が開校しました。</p> <p>開校の経過から、上野台中学校区と八景中学校区の関係は深いと考えられます。</p> <p>再編案</p> <p>「<u>上野台中学校と八景中学校の統合</u>」を進めることとし、上記の地理的、歴史的な状況に加え、八景中学校の生徒数が多数（9割近く）を占めることから、<u>場所は「現在の八景中学校区内」で検討します。</u></p>

Ⅲ 過去に検討した再編案について

①「松が丘小校区を上野台中校区に変更する」

上野台中の推計生徒数（現在校区に居住している幼児数の90%が就学すると推計、R7までは省略）

	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年
1年	45(2)	55(2)	39(1)	52(2)	41(2)	31(1)	43(2)
2年	41(2)	45(2)	55(2)	39(1)	52(2)	41(2)	31(1)
3年	58(2)	41(2)	45(2)	55(2)	39(1)	52(2)	41(2)
合計	144(6)	141(6)	138(5)	146(5)	132(5)	124(5)	114(5)

- 【市の見解】
- ・校区変更をしても適正規模を確保することはできない。
 - ・八景中の課題解消にはならない。

②「松が丘小校区・三輪小校区を上野台中校区に変更する」

上野台中の推計生徒数（現在校区に居住している幼児数の90%が就学すると推計、R7までは省略）

	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年
1年	109(3)	118(3)	111(3)	126(4)	112(3)	96(3)	130(4)
2年	105(3)	109(3)	118(3)	111(3)	126(4)	112(3)	96(3)
3年	117(3)	105(3)	109(3)	118(3)	111(3)	126(4)	112(3)
合計	331(9)	332(9)	338(9)	355(10)	349(10)	334(10)	338(10)

*三輪小校区の生徒数については、マンション建設による生徒数の増加を含む。

- 【市の見解】
- ・適正規模を確保できる見通しである。
 - ・上野台中校区に6小学校、八景中校区に1小学校となる。
 - ・松が丘小・三輪小からの生徒の通学手段の確保が課題である。
 - ・八景中の課題解消にはならない。

【参考】「将来推計生徒数中、上野台中校区(現)および『三輪小校区+松が丘小校区』の生徒数の内訳」

	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
上野台中校区(バス通学)	94 (68)	92 (66)	86 (62)	82 (59)	71 (51)	67 (48)	64 (46)
三輪小・松が丘小校区	237	240	252	273	278	267	274

*上野台中校区のうちバス通学生生の人数をR2実績72.1%で計算し()に記載。



通学にバスを利用する場合は、4km以上の遠距離通学が基準となるが、三輪小から上野台中までの距離は3.1kmであり、多くの生徒が対象とならない。徒歩または自転車での通学については、安全面から地域の理解を得ることが困難ではないかと考える。

③「上野台中とけやき台中をけやき台中に統合する」

2校統合後の推計生徒数（現在校区に居住している幼児数の90%が就学すると推計、R7までは省略）

	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年
1年	216(6)	189(5)	137(4)	148(4)	139(4)	117(3)	109(3)
2年	184(5)	216(6)	189(5)	137(4)	148(4)	139(4)	117(3)
3年	212(6)	184(5)	216(6)	189(5)	137(4)	148(4)	139(4)
合計	612(17)	589(16)	542(15)	474(13)	424(12)	404(11)	365(10)

- 【市の見解】
- 適正規模を確保できる見通しである。通学手段の確保が課題である。
 - 路線バスを乗り継ぐ場合、通学時間が1時間を超えるため、スクールバスの確保が条件。
 - 八景中の課題解消にはならない。

④「上野台中・藍中・長坂中を統合し新三田付近に新設校を設置する」

3校統合後の推計生徒数（現在校区に居住している幼児数の90%が就学すると推計、R7までは省略）

	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年
1年	96(3)	118(3)	88(3)	94(3)	88(3)	75(2)	70(2)
2年	101(3)	96(3)	118(3)	88(3)	94(3)	88(3)	75(2)
3年	110(3)	101(3)	96(3)	118(3)	88(3)	94(3)	88(3)
合計	307(9)	315(9)	302(9)	300(9)	270(9)	257(8)	233(7)

- 【市の見解】
- ・市域全体の約4分の3を占める広大な校区となり、通学手段の確保が課題。
 - ・3校を統合しても、R13には8学級となる見込みで、適正規模を下回る。
 - ・八景中の課題解消にならない。

【参考】「3校統合した場合の将来生徒数推計」

*出生数を直近3年間の0歳児の平均とし、社人研の推計率を掛けて算出した人数を入学年度の1年生の人数として推計。

	令和15年	令和16年	令和17年	令和18年	令和19年	令和20年
1年	75(2)	72(2)	69(2)	66(2)	65(2)	65(2)
2年	70(2)	75(2)	72(2)	69(2)	66(2)	65(2)
3年	75(2)	70(2)	75(2)	72(2)	69(2)	66(2)
合計	220(6)	217(6)	216(6)	207(6)	200(6)	196(6)



R15に全校で6学級の小規模校となり、それ以降も生徒数の減少が続くと予想され、新設校を建設することは適切ではないと考える。